

もっと清水が好きになる。

しみずのゆき

2024

1

No.603

特集

アグリフェス
タしみず



新春のごあいさつ

変革の時代

現場主義を貫き、情熱をもつて事業にあたります



代表理事組合長

石切山 誠



あけましておめでとうございます

皆さまにおかれましては、新たな良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、JA事業に格別なるご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

世の中に多大な変化と影響をもたらした新型コロナウイルス感染症も昨年5類に引き下げられ、社会生活もだいぶ落ち着いてきました。11月の「アグリフェスタしみず2023」も盛大に開催する事が



しまずの風

2024

1

No.603



薩埵峠と富士山

CONTENTS

- ② 新春のごあいさつ/
代表理事組合長 石切山 誠
- ④ Glowing Face
松岡 照美さん
- ⑥ 特集/
アグリフェスタしまず2023
地域農業祭
- ⑩ TOPICS
- ⑫ キチンと美味しい!すぐできレシピ
～レッドオーレで韓流だれ 射込みちくわの煮物～
- ⑬ 花笑むWoman
～女性部 両河内・興津支部～
- ⑭ Information
- ⑯ ゆるっと発見!清水の魅力
～飯田地域～



記事の一部はYoutubeで
配信しています。

でき、清水の農業を多くの方に知つていただく良い機会になつたと感じております。

しかしながら昨夏は過去に例のない記録的な猛暑が続き、農家の皆さまにおかれましては熱中症対策等、健康管理に大変苦慮されたことと思います。農作物の生育にも影響が出た事と思いますが、主力の青島ミカンにおいては、生育も順調で糖度が高く食味が良い事から好調な販売につながっています。この先、はるみ等の販売へも期待がもたれます。

昨年は、農家所得向上に向けた買取販売が十年目を迎えることと感じております。

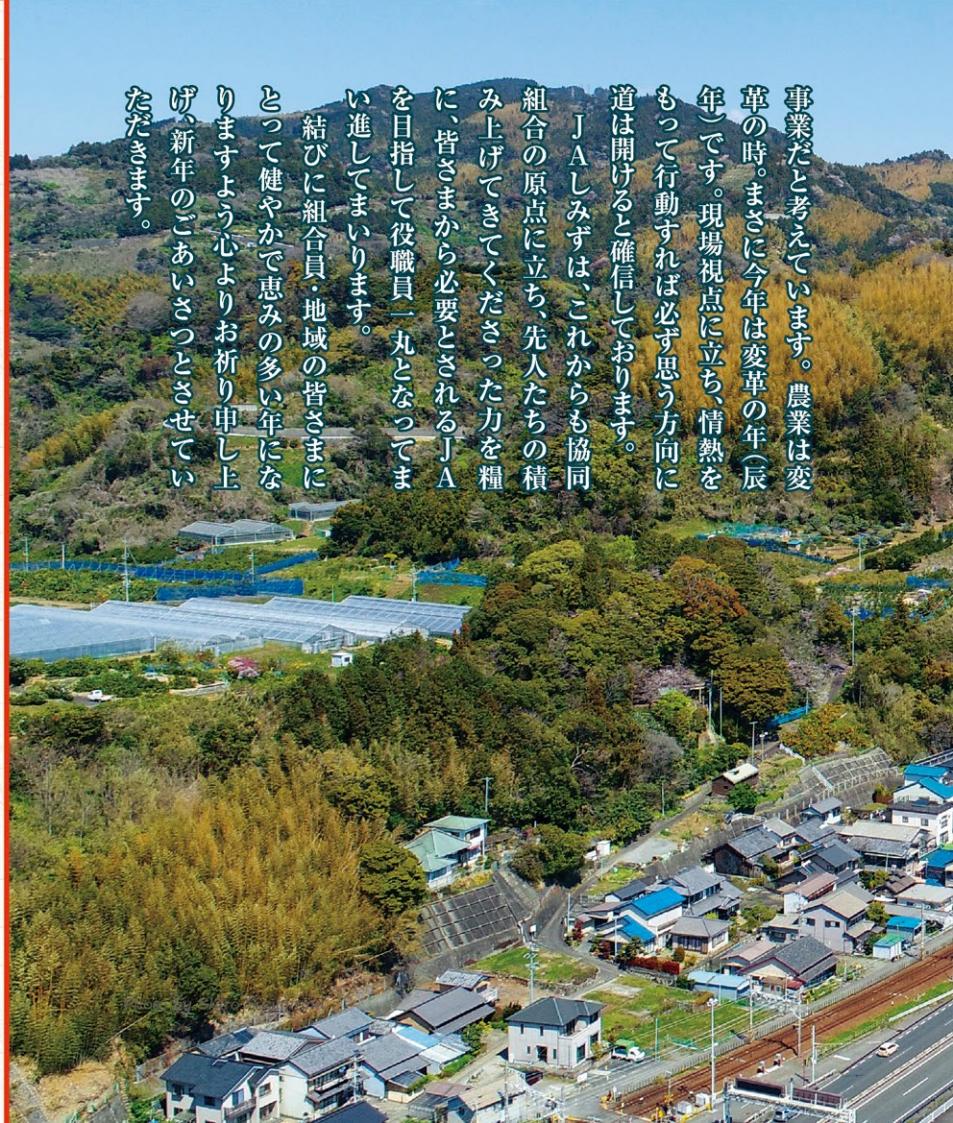
成果は確実に上がってきています。農家の皆さんのが実感できるように本年もさらに強化していきます。また、未だ収束が見えない生産資材価格の高騰は、農業経営を圧迫していますが、その対策として仕入価格の見直しや、出荷物の販売価格交渉等、現場の声に耳を傾け積極的に活動を展開しています。

長年取り組んできた畑地帯総合整備事業では、船越地区で新たな事業が認可され約22ヘクタールが優良農地に造成されます。持続可能な農業の確立のため、担い手農家のスムーズな農業継承と、地域インフラを守るためにも大切な

事業だと考えています。農業は変革の時。まさに今年は変革の年(辰年)です。現場視点に立ち、情熱をもって行動すれば必ず思う方向に道は開けると確信しております。

J Aしまずは、これからも協同組合の原点に立ち、先人たちの積み上げてきてくださった力を糧に、皆さまから必要とされるJ Aを目指して役職員一丸となつてまい進してまいります。

結びに組合員・地域の皆さまにとって健やかで恵みの多い年になりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。





グローリング ■ フェイス

Glowing Face

■ いま、清水で輝いている人たち

松岡 照美 (58) さん

心に種まく体験農園 百笑来Love(ひゃくしょうくらぶ)主宰

○まつおか てるみ／清水区高橋で市民参加の農園「心に種まく体験農園 百笑来Love」を主宰。約8アールの畑で活動し、今年で7年目を迎える。

烟をコミュニティの場にしたい

良い理解者を得て前進

そうは言つものの、やる気や情熱だけではうまくいかないのが農業。慣れない

「体験農園を開きたい」と思い切って家族に打ち明けたのは7年前。返ってきたのは「そんなの無理。お金払って来る人なんかないよ」と父親の赤堀光広さんからは猛反対されてしまった。それでも体験農園への熱は冷めず、「情熱と愛情を持つていれば、夢はかなう」と信じていた」と優しい表情の中に強い意志を持つ父を説得し「心に種まく体験農園百笑」を「LOVE」開園の準備に取り掛かった。



■ 体験農園の情報交換はノートでも

笑顔あふれる農園 畑でいつぱい笑おう



いつも笑顔の農園メンバー

農作業に悪戦苦闘している照美さんの姿を見て、父親が次第に助け舟を出してくれるようになった。今では農園活動を応援してくれる一番の理解者だ。畑で参加者へのアドバイスや実際の作業を見せて指導するなど、「86歳の師匠」として慕われながら、積極的に農園に協力している。松岡さんの情熱が広がり、参加

者は4歳から80代まで20人を超える程になった。「週末は畑で癒やされて楽しむ」とにぎわっている。

「体験農園」と銘打っているが、土づくりから種・苗の植え付け、害虫防除から天候に応じた農作物の保護まで、実際の農家が行う手順を講習会で分かりやすく指導する。農業の苦労を感じながら心にも種をまき、おいしい野菜作りを大いに楽しんでいる。

心が癒やされる農園作り

かつて「親子であぐりん」という食育クラブの代表を7年間務めていた。農家の応援団になってほしいと「農山漁村ときめき女性」の農家仲間ともつながり、ブルーベリーやぶどう狩り、お茶会などの体験も楽しんでいる。農園を紹介するパンフレットにも「畑が自分や家族の居場所になり、「ヨコヨコ」を広げる」を掲げ、「心に種をまく日」「百笑青空レストラン」と題し、採りたて野菜を味わうバーベ

キューや学びの会を行うなど、参加者一人一人を大切にそれぞれがつながっていく農園を心に描く。

SNS活用で積極的な交流

メンバー同士でグループLINEや交換ノートを積極的に活用し、栽培する農産物の情報や料理法を素早く参加者と交換している。参加者同士のコミュニケーションが広がり、農園だけでなく登山部立ち上げや、音楽イベントに参加など、趣味の交流も活発になった。「農園を通じて皆で交流し、それぞれの生活が豊かになっていければ」と笑顔で話す。自身もフェイスブックで農園の様子や作業後



本格的な栽培を行う体験農園の畑

もっと農業を勉強したい

農業への知識をさらに深めるため、昨年4月からはJAしみず集出荷センターが企画する「園芸塾」にも参加している。JA職員から土作りや病害虫対策、農具の知識や出荷方法まで具体的な知識を学んでいる。「自分の農園で栽培した野菜や花きを、グリーンセンターや直売所に出荷していくのが次の夢です」と力を込めている。仲間とともに、さらに充実した持続可能な農園を目指している。



JAの「園芸塾」に参加し、栽培指導を受ける松岡さん(右から3番目)

J Aしみずは11月19日、

「アグリフェスタしみず」を

清水マリンパークで開催しました。

コロナ禍以降、初めて規制のない開催となり、

家族連れなど約26,000人が来場しました。

地元・清水の農林水産物や加工品などの

即売と展示をはじめ、くじ引きや

子ども向けのゲームなど多彩な

催しが行われました。



地元の農産物がズラリ!



わた菓子ひとつください!



イベントやお店が
盛りだくさん!



新鮮でお買い得な品がいっぱいです!



キザクラの加工品も盛りだくさん



的を倒して景品GET!



この秋イチ押し！おいしい農産物やお楽しみイベントもりだくさん!!

バラやガーベラなど地元で栽培する花を展示！

甘~いミカンが詰め放題♪



タレが自慢の五平餅です♪

フランクフルト、おいしいよ！



JA共済の自転車シミュレーターで
安全運転を確認♪

JA大北特産のりんごは今年も人気♪

お茶をはじめ、特産品を紹介



数年ぶりの餅まきは大盛況でした♪

J.A.大北ブースでは、
大北米で作った餅を販売しました



アグリフェスタ しまざ

ステージプログラム

- 8:45 オープニングセレモニー
- 9:15 太鼓演奏(信濃国松川響岳太鼓子供会)
- 9:50 オレンジウェーブショー with バルちゃん
- 10:15 それいけ!アンパンマン ショー①
- 11:10 海辺deコンサート
清水イルコンパニヨンと
清水第三・第四・第六中学校吹奏楽部の共演
- 11:05 餅まき①
- 12:30 「The Legend on Stage」
國本良博さん率いるバンド演奏
- 13:10 それいけ!アンパンマン ショー②
- 13:55 閉会式
- 14:05 餅まき②



オープニングセレモニー

会場では
かんたくんも人気
でした♪



フリーANAウンサー・くんちゃんが率いるバンド
「The Legend」がステージに登場



信濃国
松川響岳太鼓子供会による
圧巻のパフォーマンス



ダンススクールの
子どもたちも踊りを披露♪



市民楽団「清水イルコンパニヨン」と清水第三、第四、第六中が共演



エスペラスオ
ウェーブのステーション



おいしい実りの秋、真っ盛り！

地域農業祭

各支店でも地域農業祭を開催しました

10/21



有度地域

11/11



蒲原地域

11/12



由比地域

みなさま、ご来場
ありがとうございました♪



高部地域

11/11



興津地域



両河内地域

農産物事故想定訓練

出荷物に基準値超え農薬を想定

JAしみずは12月6日、農産物から基準値を超える農薬成分为検出された場合に備え、事故想定訓練を庵原支店で行いました。青島温州の販売店が行った自主検査で発覚したことを想定し、ロールプレイングを実施。JA役職員と各部会長など約20人が共有し、危機意識を高めました。

訓練では、石切山誠組合長を本部長とする緊急対策班を設置。営農経済事業担当の役職員が①事故発生時の情報収集②自主回収、出荷停止③生産者組織の対応④原因究明までの手順を確認し、課題などを議論しました。



▲ 事故想定訓練でロールプレイングをする参加者

暴力・防犯・交通安全対策協議会 清水警察署と協議

JAしみずは11月29日、本店で清水区域暴力・防犯・交通安全対策協議会を開き、清水警察署やJA関係者など44人が参加しました。

清水警察署の鈴木武生活安全課長が管内の犯罪発生状況と防犯対策について、JA静岡中央会の長島清暴力防犯対策協議会事務局長が県内JAの状況について報告。当JAの望月正光相談役は、JAの対応や清水警察署への要望事項を訴えました。

また、特殊詐欺を防いだ庵原支店が清水警察署の鈴木正勝署長から表彰されました。



▲ 暝・防犯・交通安全について協議した参加者

J Aしみずハウス苺部会

タイムリーな出荷で高付加価値

J Aしみずハウス苺部会は11月28日、クリスマスから正月までの需要期を前に、JA集出荷センターで2023年度前期目ぞろえ会を開きました。

生産者は荷造りや収穫時期などを確認しあい、JA職員が改めてパック詰めの方法やフィルムの貼り方などを説明。職員が「高品質なイチゴをタイムリーに出荷し、消費者の期待に応えたい」と呼びかけました。同部会では、6月まで紅ほっぺときらび香合わせて23万パック(260~280g入り)、販売金額8,970万円の出荷を見込んでいます。



▲ パックの詰め方を確認し合った目ぞろえ会

蒲原聖母幼稚園 女性部と園児がみそ作り

J Aしみず女性部蒲原支部は11月28日、蒲原聖母幼稚園で園児とみそ作りを行いました。同支部が幼稚園でみそ作りの指導をするのは初めて。同園の園児14人と西部こども園の園児2人が参加しました。

園児たちは女性部員から指導を受け、ゆでた大豆をビニール袋に入れてつぶしてから、麹と塩を加えてよく混ぜ合わせました。川島弘美園長は「今年は暑さで園の大豆が実らなかつたが、女性部の協力でみそが造れる」と話しました。みそは発酵させ、3月ごろ完成する予定です。



▲ 袋に入れたみその材料を混ぜ合わせる園児

青壯年部と常勤役員 組織強化へ意見を交わす

J Aしみず青壯年部は11月10日、JA常勤役員と庵原支店で青壯年部の組織強化について意見交換をしました。両役員とJA職員計24人が参加し、同部の青木雄基部長や各支部長は「部員数の減少や平均年齢が上がっているのが悩み」などと、現状の課題や悩みを訴えました。

石切山誠組合長やJA役員は「個人ではできないことも、組織活動によって可能になる。農業は楽しいというイメージを見つけてほしい」と、プラス思考が組織強化につながると答えていました。



▲ 活発な意見を交わし合った意見交換会

静岡市土地改良連絡協議会 基盤整備早期完了へ要請

静岡市土地改良連絡協議会は11月15日、2024年度の農業農村整備事業予算編成に関する要請のため、東京都内の農林水産省や財務省を訪問し、基盤整備の推進を訴えました。

同協議会長を務めるJAしみずの石切山誠組合長はじめ、同協議会とJA、行政関係者など計17人が参加。JA管内の矢部、池ノ沢、船越、庵原、有度、馬走地区について「農地の集積・集約化には、営農の省力化を図る基盤整備の早期完了が不可欠」と訴え、各事業の予算確保を求めました。

また、2025年以降に県中部地区4JAで検討している広域選果場についても、柑橘産地の維持拡大に必要な整備だとして、補助事業の対象とすることを要請しました。



▲前農水大臣(左から5人目)に要請書を提出した関係者

ハイライトNEWS

JAしみず青壮年部・女性部が清水庵原小学校で食育授業を行いました。



11月7日

3年生がミカン農家の望月崇弘さんの園地で収穫を体験し、栽培から流通までの仕組みを学びました。

11月9日

3年生約60人がバラ農家の小林一彰さんのハウスを訪れ、栽培の様子を見学しました。



11月10日

女性部庵原支部が庵原小学校で茶道教室を開き、児童が裏千家のお点前と作法を体験しました。



「本ゆず」出荷 販路拡大と所得向上を目指す

JAしみず本ユズ生産者は11月10日、JA集出荷センターで「本ゆず」の目ぞろえ会を開き、今シーズンの出荷を始めました。

新型コロナウイルス禍が落ち着いた今シーズンは、ユズの需要が回復傾向にあり、強い引き合いを期待。市場出荷だけではなく、地元スーパーなどへの売り込みも強め、昨年から再開した酒の原料としての取り扱いも継続し、販路拡大と所得向上を目指しています。

生産者の小澤茂樹さんは「夏の高温の影響が懸念されたが、香り高いユズができた。多くの人に味わってほしい」と話しました。



▲「本ゆず」の出荷規格を確認する生産者ら

規格外果を有効活用 はるみや不知火が精油に

JAしみず柑橘茶振興課は、清水区内でアロマサロンを営む調香師の杉浦元昭氏に、精油の原材料としてはるみや不知火を提供し、完成した静岡市産精油のお披露目会に参加しました。

杉浦氏はJAから凍霜害などで除外した柑橘類を譲り受け、果皮から精油とアロマミストを作成。参加者は会場でさわやかな香りを楽しみました。

同課職員は「廃棄する果実を有効利用してもらえば環境にも優しいうえ、新たな活用方法につながると思う」と話していました。



▲摘果柑橘を利用した精油について説明する杉浦氏

キチンと
美味しい!

すぐできレシピ!



スマホでもチェック!

材料 / 2人分

レッドオーレ	8個 (250g程度)
コチュジャン	大さじ2
西京味噌	大さじ2
酒	大さじ2
ちくわ	5本
青ネギ	3本 (根元から12cm程度)
ニラ	3本 (根元から12cm程度)
ワインナ	1/4本
切り餅	1/4個
エリンギ	1/4本



レッドオーレで韓流だれ 射込みちくわの煮物

～トマトの旨みが溶け込んだ甘辛いたれが決め手！～

作り方

(1) レッドオーレの準備をする

レッドオーレは洗ってヘタを取り、横半分に切る。

(2) たれ作りの準備をする

- ① フタがしっかりと閉まる直径18cm程度の鍋に、コチュジャンと西京味噌を入れ、酒で溶きのばす。
- ② レッドオーレの上半分を、切り口を下にして鍋の中央付近に並べる①

(3) 射込みちくわを作る

- ① 青ネギとニラは、洗って根元を切る。根元の硬い方からちくわに差し込み、ちくわと同じ長さに切る。
- ② ウィンナ、切り餅、エリンギは、ちくわ

に入る太さ、長さを考えて切り、ちくわに詰める。

- ③ 具材を詰めたちくわをすべて斜め半分に切る。

(4) 煮る

- ① ちくわは、切り口を上にして(2)のレッドオーレに立てかけながら、ぐるりと囲むように並べ、フタをする。
- ② 点火し、弱めの中火で5分加熱する。
- ③ 時間がきたら、残りのレッドオーレを、断面を下に向けて鍋の外周に沿うように並べ入れる②
- ④ 再びフタをして、弱めの中火で5分加熱したら、できあがり！



上半分はトロトロに煮崩れ、調味料を合わせたたれになります。



下半分はちくわの上に乗せて加熱し、少しが残る程度に仕上げます。

まめ知識

もじり一品 レッドオーレのカツオユッケ

材料 / 2人分

レッドオーレ…2個、カツオ(刺身用サク)…250g、しょうゆ麹…大さじ2+1/2、ゴマ油…適量、卵黄…2個、青ネギ・白煎りゴマ・おろしショウガ・おろしニンニク・海苔…すべて適量

作り方

- ① レッドオーレは1cm角程度に切る。カツオはサクのまましょうゆ麹に2時間程度漬け、1cm角程度に切る。
- ② ①とゴマ油、ショウガ、ニンニク少々を軽く混ぜ、器に盛る。白ゴマをふり、真ん中に卵黄を落とす。ネギと海苔をふる。



【今月の素材】レッドオーレ

熟すにつれ光合成で作られた成分が果実全体に運ばれ、おいしさを増していくトマト。中でも、ゼリーとタネが存在する「子室」は旨味と酸味のもととなるグルタミン酸とアスパラギン酸を、子室同士を隔てる「壁」と子室を取り囲む「壁」は、甘味成分を多く蓄えます。レッドオーレは「子室」の数が2~3個で、甘味を蓄えた「壁」が厚く、旨味/酸味/甘味のバランスが抜群！外皮も薄くて食べやすく、生食でも加熱しても、おいしさがお口いっぱいに広がります。



遠山由美

野菜ソムリエ上級プロ、栄養情報担当者(NR)、食育プロデューサー他

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。



ウーマン Woman

このコーナーでは、女性部が地域でいきいきと活動する様子を隔月で紹介していきます。

両河内支部

女性部両河内支部は12月1日、支部の畠で収穫したサツマイモを加工し、収穫祭の準備に汗を流しました。今年は加工用として約8キロのサツマイモを準備。集荷場内にある加工室で大榎久美子支部長をはじめメンバーや朝からサツマイモを蒸し、熱い蒸たてのうちに、サツマイモの皮を手際よくむいてスイートポテトを作りました。

今年は前年より品ぞろえも良く、収穫祭も盛り上がりました♪



両河内支部
大榎 久美子支部長

みんなで芋収穫 「収穫祭」で販売!!

女性部両河内支部は12月1日、支部の畠で収穫したサツマイモを加工し、収穫祭の準備に汗を流しました。今年は加工用として約8キロのサツマイモを準備。集荷場内にある加工室で大榎

久美子支部長をはじめメンバー10人が朝からサツマイモを蒸し、熱い蒸たてのうちに、サツマイモの皮を手際よくむいてスイートポテトを作りました。

バーが早朝から品出しを行い、スイートポテトを販売しました。

収穫祭が始まると次々と来店客が買

い求め、部員たちは品出しや対応に大わらわとなりました。大榎支部長は「時間をかけて作ったので、味わって食べてほしい」と話しました。

搾りたての
ミカンの味を堪能し、
いい思い出になれば
うれしいです♪



興津支部
米澤 静子支部長



サツマイモを加工するメンバー



搾汁器で摘果ミカンを搾る児童

ミカンの摘果と ジュース作り

女性部興津支部は10月13日、興津支店

2階で清水興津小学校3年生と教員らを招き、摘果ミカンを搾りジュース作りを行いました。約90人の児童が挑戦しました。

同校は総合学習で地元のミカンについて学んでいます。生産者の伏見勝さんの青島ミカン園で傷果や病害虫の被害を受けた不良果を取り除く摘果作業を体験した後、支店でジュース作りに取り組みました。

児童たちは、女性部員の指導を受けながら手動の果汁絞り器で摘果ミカンを搾り、果汁に砂糖を加え水で薄めてその場で味わいました。

搾りたてのジュースを味わった児童は「ミカンの香りがしておいしかった」と満足げに話していました。

\就活中の大学生・短大生の皆さんへ /

JAが分かる! 1Day 仕事体験

実際の仕事現場の見学や先輩職員との懇談など、

職場の雰囲気や業務の内容を知っていただける機会です。



日 時
2月5日(月)・2月14日(水)
2月21日(水)
各日とも9:00～16:00(予定)

申込期限
各開催日の
1週間前まで

会 場
JAしみず本店
静岡市清水区庵原町1番地

対 象
2025年3月に大学院、大学、短大、専門学校卒業見込みの方、または対象学歴卒業者で2024年4月1日現在、満25歳までの方(学部・学科不問)



募集人数
各20人程度

内 容
オリエンテーション、JAの概要説明、グループワーク、先輩職員との懇談、職場見学

そ の 他
応募者多数の場合、別日程をご案内させていただきます。JAよりEメールでお知らせします。

●お問い合わせ
JAしみず 総務部総務課
TEL.054-367-3201
(平日 9:00～16:00)



清水厚生病院 健康管理センター

ドック冬季料金のご紹介

当センターでは、冬季にドックをご予約いただいた方に特別料金をご案内しています。普段よりもご利用いただきやすい価格となっておりますので、ドックを受けたことがない方も、この機会をぜひご活用ください。



ドック冬季特別料金

一日人間ドック
¥39,600 → ¥30,500
(通常料金) (冬季料金)

一泊二日ドック
¥67,100 → ¥55,000
(通常料金) (冬季料金)

脳ドック
¥40,700 → ¥33,000
(通常料金) (冬季料金)
※ 全て税込み

ドック空き状況

一日人間ドック

【2月】2(金)、6(火)、8(木)、9(金)、13(火)、21(水)、28(水)
【3月】1(金)、6(水)、13(水)、15(金)、19(火)、21(木)

一泊二日ドック

【2月】8(木)～9(金)、19(月)～20(火)
【3月】7(木)～8(金)、18(月)～19(火)

脳ドック

1/9(火)～3/19(火) ※毎週火曜日

※空き状況は11/21時点のものです。今後の予約状況によっては、ご利用いただけない場合もございます。



清水厚生病院 健康管理センター

静岡市清水区庵原町578-1

TEL : 054-366-3769(直通)

FAX : 054-366-3407

☆ ドック、健康診断は全て予約制となっております。
予約をご希望の方は、電話または直接ご来院ください。
☆ JA組合員の方は、ドックに組合員料金がございますので、お気軽にお問い合わせください。
☆ 共済ドックは、JAよりご案内しておりますので、ご利用ください。



ホームページ

ふじのくに新商品セレクション2023

「清水の檸檬紅茶」が金賞受賞

静岡県の優れた加工品のコンクール「ふじのくに新商品セレクション2023」でJAしみずのボトルティー「清水の檸檬紅茶」が金賞を受賞しました。

「清水の檸檬紅茶」は、和紅茶への関心が年々高まってきている背景から、若い世代にも手軽に手に取ってもらおうと2023年に商品化。清水産紅茶と清水産レモンを使用し、やさしい甘みと爽やかな香りが特徴です。



JAしみずでは、受賞を記念してお買得な割引キャンペーンを実施中です。この機会にぜひお買い求めください。

キャンペーン期間 1月31日(水)まで

特別価格 2,900円(税込)通常価格より300円お得!

商品規格 380g×24本入り/ケース

対象店舗 JAしみず各営農窓口、グリーンセンター、四季菜ジェラート&カフェきらり

理事会だより

定例理事会:11月27日(月)

■議事

- 組合員の出資口数減少の申し出について
- 信用事業方法書(為替取引・金銭債権の取得又は譲渡及びこれに附帯する事業)の変更について



今月の表紙



滝 宏さん
(静岡市清水区吉原)

正月の生け花の花材として利用される千両。滝さんは20aの園地で30年以上栽培し、ミカンやお茶も栽培しています。「今シーズンは近年にない良い千両を収穫することができました」と満足げに話していました。

編・集・後・記

自転車で取材するコーナー「しみずの魅力」を始めてから、毎月管内のどこかを走っている。暑い日のさった峠、寒い日の飯田地域。季節を感じながら走る自転車は心地よい。「おもしろい」と言ってもらえるように、今年も走ります。(伊藤)

広報課に異動して年内は手探りの部分も多分にありながら、皆さんのおかげでなんとか無事打ち上がりそうです。新しい人・場所や景色との出会いに感謝して、楽しく元気に広報活動に向かいたい。本年もよろしくお願いします。(横谷)

年末からあまり変わらない部屋を見て、断捨離を誓うのが新年の恒例。手放してもいつの間にか増え、やる気がうせるというループから、なかなか抜け出せない。今年こそ家族を巻き込み、スッキリと暮らしたい。(杉山さ)

第3回「清水いはらフェス」開催

地元特産の柑橘類をはじめ、農水産物などの「食・農・おもてなしコーナー」やアマチュアバンドコンサート、歴史探訪などの「イベントコーナー」などを通じて道の駅実現に向けた社会実験を考えるイベントです。

日 程 1月28日(日) 10:00~15:00
(荒天中止)

会 場 清水庵原球場プロムナード・駐車場
(静岡市清水区庵原町3000)



●お問い合わせ

清水いはら道の駅プロジェクト

TEL:080-8263-3918(担当/塚本)

「ごちそうカントリー」ではるみを紹介



番 組 静岡第一テレビ「ごちそうカントリー」

放送日 1月21日(日)
11:40~

出演者 柑橘委員会
田島利雄さん

テーマ はるみ



今月も「しみずの風」をお読みいただき、ありがとうございました。

クリスマスを過ぎれば、あっという間に正月ムード。年末始でバタバタしているうちにもう2月。毎年同じパターンですが、今年こそこのパターンを抜け出して、ゆっくりとした年末始をすごしたいと思っています。(見宮)

雑煮といえば餅だが野菜も欠かせない。昨年から野菜の高騰が問題となっているが、農家としてもそれだけ不作の表れだと推察する。生産者の労苦に感謝するにはとておきの純米吟醸酒と雑煮を味わいながら辰年をスタートさせたい。(杉山滋)

やるーと発見！

八坂の魅力

第9回
今回のゴール
「八坂神社」

“温故知新”を形にした街

今回は、メモリアル清水の事務所からスタートして西へ。食農教育として何十年もの間バケツ稻作りが行われている清水飯田東小学校の前を通ります。右手に飯田生涯学習交流館、清水飯田小学校を見ながら、山原街道まで来ました。四つ角にある、ふれっぴー飯田店の直売コーナー「清水野菜村」には新鮮な野菜が豊富に並んでいます。そこから南に向かうと、左手には飯田支店が見えます。近辺には金融機関、ス

パー、デパートなどがあり賑わっています。変形5差路をさらに南西に下ります。いよいよこの道は狭くなり、酒店、カーフ店、居酒屋など古くからの商店が多く現れています。この辺りに飯田城跡があつたと聞きましたが、今回の旅では見つける事はできませんでした。道を進みます。山原街道からの道は、食品から雑貨まで生活に必要な物全てが揃う通りである事が分かります。JR清水駅からまっすぐ上ってくる花の木通りに出る前に、「農薬燈」という塔を見つけました。国・バイパスに接続

する八坂通りを出て北に向かいます。右手には清水東高が。フットバスには囲碁、陸上、テニス、など多くの部活が表彰された横断幕が張られています。さすがは、創立100周年を迎えた伝統校です。当JAが2002年に制作した「清水昔ばなし」に登場する、和物所(あいなんじょ)稻荷神社に寄った後、ゴールの八坂神社を目指します。飯田は新旧のバランスが良く住民の生活感が伝わってくる街。道の新旧、建物の新旧。人の生活に合わせて温故知新を形にした街、飯田地域です。

地域クローズアップ
<飯田地域>



今回のルート
start メモリアル清水
goal 八坂神社

MAP



空から見た飯田地域/
左上の緑は、八坂神社。上空からは見えませんが、東名上り入口のロータリーでは、草刈りロボが健気に草を刈っています。



山原街道/
多くの車が行きかう飯田の街並み。



農薬燈/
農業専業の化学薬品メーカー・クミアイ化学工業(株)の前身、庵原農薬(株)が1956年(昭和31)に建立。「世界の農業・農家・食糧生産に貢献する」をビジョンとし、今も海に向かって灯を放ち続けています。

